

ブックスタートだより

2012. 3

第3号

※この「たより」はブックスタートボランティアの皆さまにお届けします

発行：ほんぽーと新潟市立中央図書館



特集 速報！ブックスタートアンケート結果

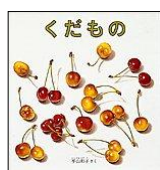


新津健康センターの様子です。みんな絵本を楽しんでくれました。

平成24年度の配布絵本紹介



『おつきさまこんばんは』
林明子/作（福音館書店）



『くだもの』
平山和子/文・絵（福音館書店）



平成24年度からは新しく『じゃあじゃあびりびり』（まついのりこ/作・絵 偕成社）が仲間入りします。たいへん人気のありました『びょーん』は、NPOブックスタートの選定から外れ、購入できなくなりました。

保護者から「カバンに入れて持ち運びやすい大きさ」で「厚紙絵本」が良いという意見をたびたびいただき、また『びょーん』と同じように音の響きを楽しむ絵本ということで選びました。

【読み方のポイント】

そうじきやねこ、らっば、にわとりなど身近にある物や動物の音や鳴き声がたくさん出てきます。幼い子どもの耳は「音」に敏感ですので、ゆっくり、はっきり、楽しく読むように心がけてください。擬音語をつけ足したり、子どもがお気に入りの動物から読み始めたり、自由に遊びながら読んで大丈夫です。

速報!

ブックスタートアンケート結果

★ブックスタートの効果を調べるためにアンケートを実施しました。抜粋してお知らせします。

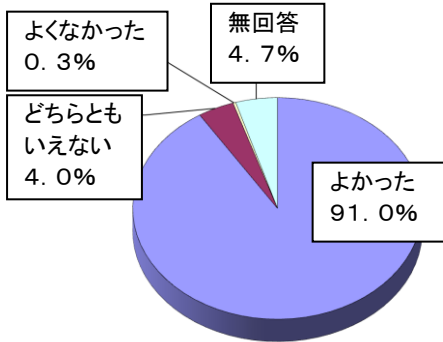
対象：平成23年4～6月のブックスタート対象者

調査方法：1歳6か月児健診の会場で1,300人にアンケートを配布し、642人が回答（回収率49.4%）

調査時期：平成23年11月～平成24年1月

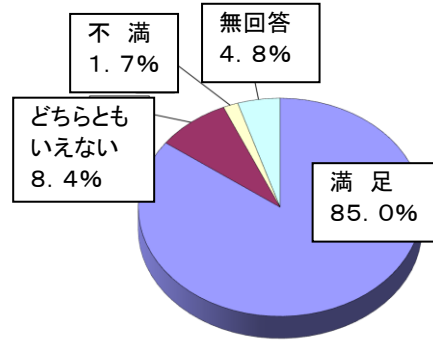
ボランティアのみなさんのおかげで、たいへん喜ばれています!!

1. ブックスタートを受けてよかったですか。



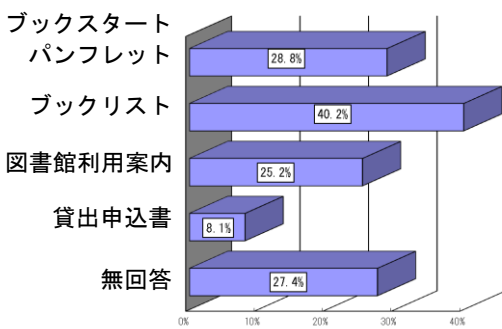
9割は「よかった」と好評です。「よくなかった」と不評の人はきわめて少ない結果でした。

2. 絵本について



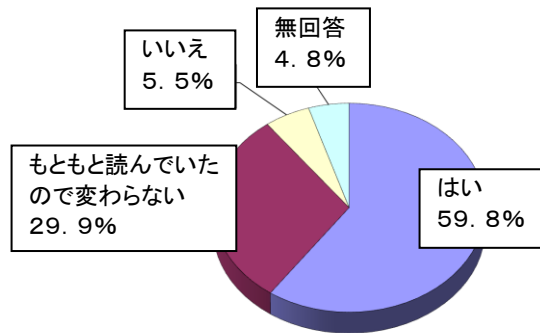
8割以上は「満足」しています。事業の趣旨には賛同していますが、絵本の冊数に不満を感じる人が若干います。

3. 絵本以外の配布物でよかったもの



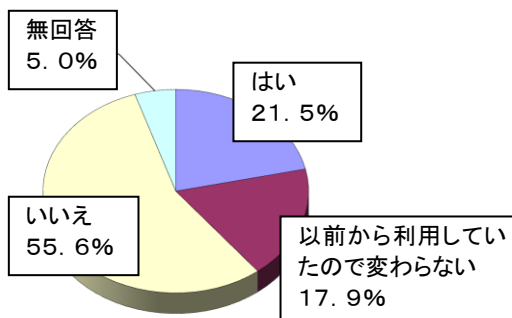
配布物は、概ね評価されているが、無回答とした人も3割弱いることから、参加者のニーズをより細やかに捉えた配布物の検討をしていきたいと思えます。

4. ブックスタートをきっかけに、お子さんに本を読んであげる機会が増えましたか。



6割はブックスタートをきっかけに、子どもに本を読んであげる機会が増えており、明らかな事業効果があったといえます。

5. ブックスタート後、お子さんと一緒に図書館を利用する機会が増えましたか。



「はい」とする人は2割程度にとどまり、読み聞かせ効果に比べると課題の残る結果でした。今後は、ブックスタートが図書館利用へとつながっていく方法を考えていきます。

6. その他の感想や要望

- ・ 頂いた本をととても気に入っていて、覚える位読みました。絵本に出てくる物も覚えてくれたので、とても良かったと思います。絵本の効果を知りました。
- ・ ブックスタートで「おつきさまこんばんは」をいただいてから、娘はよく本を見るようになりました。おつきさまをととても気に入って、夜になると月にニッコリ笑いかけている子供の姿が見られて、私自身癒されています。ブックリストもとても役立っています。今度はぜひ図書館へ行ってみようと思います！！
- ・ 「ぴょーん」をいただきました。歯みがきの時にも、「お口の中でかえるがピョーン！」と仕上げみがきに役立っています。
- ・ 図書館で、どうしても大きい声でさわいでしまうので、他の人の迷惑にならないかとはらはらしてしまいます。
- ・ 日中、保育園に通っているため、夜寝る前の読み聞かせの時間の絵本は、ただ寝かしつけるだけの道具ではなく、母と子のかけがえのないコミュニケーションの一部になっています。



- ・ ブックスタートは、本を読んであげるよい機会になりました。子どもだけでなく、親にとってもよい機会でした。私は別の本がいいと思ったけど、子どもが選んだ本を頂きました。自分が選んだだけあって、家でもいつもその本を持って来て、「読んでほしい」と言います。やっぱり親ではなく、子ども自身に選ばせてよかったと思います。ありがとうございました。



— こんなときはどうしたらいいの？

図書館からのプチアドバイス —

アンケートで「いつも図書館で子どもが騒ぐため、ゆっくり絵本を選べないし、読んであげるのも気を使う」など、図書館に行きにくいという意見をいただきました。

図書館は静かに本を読んだり学習するところ、というイメージがあるためか、小さい子どもを連れだお母さんお父さんにとっては、少し敷居が高いようです。

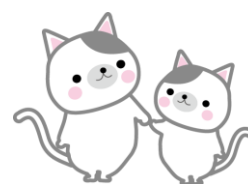
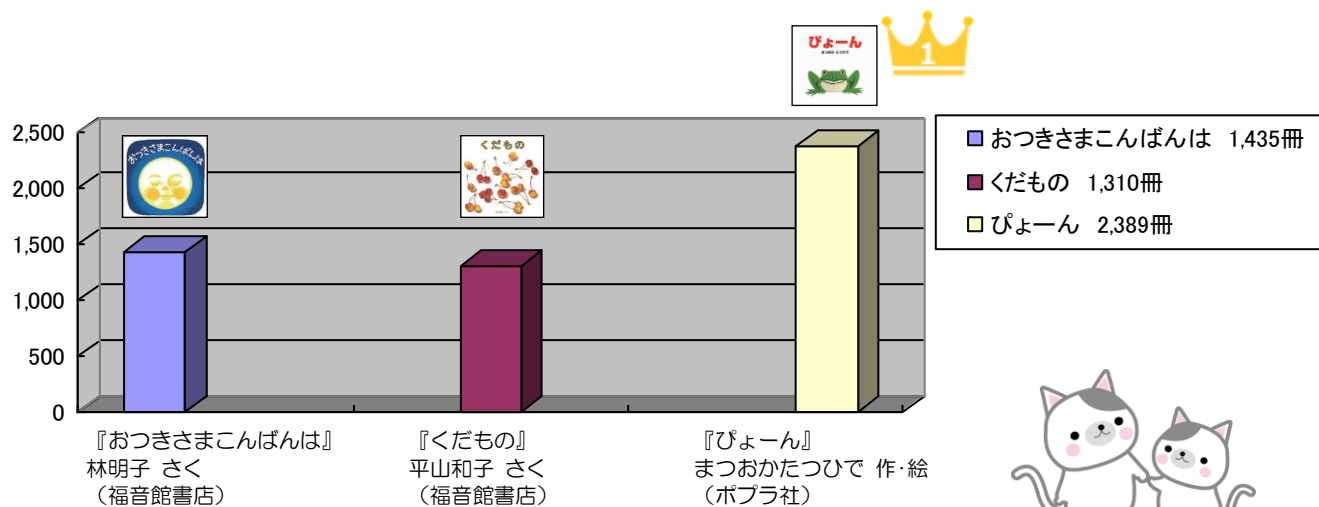
「赤ちゃんの時から図書館に親しんで欲しい」という願いから、市立図書館ではベビーカーや授乳室等を設置し、「子育てにやさしい図書館」を目指しています。初めは、はしゃいで大きな声を出しても、図書館に通い続けるうちに「騒いではいけない」ということを、子ども自身が学ぶことになると思いますので、気兼ねなくたくさん利用していただきたいと思います。

また、図書館では、0～2歳児を対象とした小さい子向けの「おはなしのじかん」も開催しています。本に親しむ第一歩になると思いますし、同年代の子どもたちや保護者同士の交流の場にもなっていますので、ぜひ図書館に足を運んでみてほしいと保護者の方に伝えてください。



5, 134人の笑顔をゲット

1月末までに延べ743名のボランティアさんにご協力いただき、たくさんの絵本を届けることができました。



❀ 図書館からのおねがい ❀

♪ 体調管理のお願い!

3月に入りましたが、まだまだ寒い日が続いています。ひざかけや温かい飲み物の持参など、体調管理を十分をお願いします。風邪をひいたり、体調がすぐれないときは、当日まで様子を見ることなく事前に管轄の図書館へご連絡ください。

※注意! …ブックスタート当日に、突発的な事情で休んだり遅れたりする場合も図書館へ連絡してください。ブックスタート会場である健康センター等には連絡しないでください!

♪ 4月から「待機ボランティア」を設けます! (東・中央・江南・西区で活動する皆さん)

活動日程表に「待」の文字が入っている日が待機ボランティアをお願いする日です。活動をお願いする場合は、当日の9時30分(江南区は13時)までに連絡をさしあげますので、自宅待機をお願いします。それまでに連絡が無ければ、その日の活動はありません。ご協力をお願いいたします。

※西蒲区では「予備ボランティア」として実施中。

編集後記

ブックスタートが始まって、最初の1年をもうすぐ終えようとしています。ブックスタートが始まる前は、泣き止んでくれなかったらどうしよう、ブックスタートの意義がちゃんと伝えられなかったらどうしよう、お家の人とどんな会話をしたらいいのだろうと不安がたくさんあったと思います。でも、今はどうでしょうか?絵本を読み始めたときの子どもたちの反応、ちょっとした雑談で笑顔になるお家の人。1冊の絵本をはさんで、ボランティアさん、子どもたち、お家の人、みんな笑顔になっていました。

この1年は絵本の力、子どもたちの力、そして何よりもボランティアの皆さんの力を感じた1年でした。暑い日も寒い日も、雨の日も大雪の日も、ご協力いただいて、本当に感謝しています。

2年目も笑顔がいっぱいのブックスタートになるように引き続きよろしく願いいたします。

(新津図書館 さ)

